

ハードコートの種類と特徴

場所	平面用				立上り用	
品種	CL-E-1	CL-E-2	PRO WX	クイック	AA	SFP
形態	被膜型	被膜型	被膜型	浸透型	被膜型	浸透型
主成分	エチレン酢ビ	エチレン酢ビ	合成樹脂	珪酸塩	アクリル	珪酸塩
溶媒	水	水	水	水	水	水
顔料有無	無し	有り(白色)	有り(白色)	無し	無し	無し
製品の色	白(硬化後は透明)	白	白	淡青	白	青
希釈割合	原:水=1:1~3	原:水=1:1~3	原液で使用	原:水=1:1~2	原:水=1:0~1	原:水=1:1
散布量	150~300g/㎡	150~300g/㎡	200g/㎡	100~150ml/㎡	120~240ml/㎡	200g/㎡
使用用途	スラブ(室内、ベランダ)	コンクリート舗装スラブ(屋外)	コンクリート舗装	コンクリート舗装スラブ	構造物(立上り面)	スリップフォームのセンターバリア
特徴	床版防水層や塗料との接着性が良い。	床版防水層や塗料との接着性が良い。	米国ASTM規格適合品(一貫養生)。	浸透型なので表面被膜が残らない。表面硬化促進により早期にマット敷設できる。	粘性が高いため立上り面に適する。	浸透型なので表面被膜が残らない。コンクリートの表面ひび割れを抑制。
注意点	多量に散布すると粘着が発生する。	多量に散布すると粘着が発生する。	水で希釈をすると分離することがある。	ガラス等に付着すると取れない。塗布後のコテ仕上げは表層が剥げるので厳禁。	塗装する場合には研磨して被膜を剥がす必要がある。	ガラス等に付着すると取れない。噴きムラがあるとまだらになる。
備考	建築にも一部使用されている。	原液量=300/4=75g/㎡ ※NEXCOの基準は70g/㎡以上。	日本では養生剤の規格が無い。	単独では養生効果はほとんど期待できない。	トンネルやスリップフォームの煙突での実績がある。	高速道路のスリップフォーム中央分離構造物の使用例が多い。